

平成28年第3回定例会(平成28年9月21日)

総務企画消防委員会委員長 (加藤 信康 委員長)

去る9月8日の本会議において、総務企画消防委員会に付託を受けました、『議第72号 平成28年度別府市一般会計補正予算(第6号)』関係部分、ほか1件について、9月9日に委員会を開会し、慎重に審査をいたしましたので、この経過と結果についてご報告いたします。

まず、『議第72号 平成28年度別府市一般会計補正予算(第6号)』関係部分であります。地方創生加速化交付金対象事業における二次分として、「4『B』i地域産業イノベーション推進事業」、及び風評被害対策として専決処分した「官民共同誘客緊急事業」、いわゆる「GoBeppu事業」を初めとする6事業、計7事業が採択を受けたことに伴う交付金7,000万円、及び、地方創生推進交付金対象事業として、「ICT等を活用した観光産業の生産性向上事業」が採択を受けたことに伴う交付金750万円を受け入れる、また、平成27年度一般会計決算における決算剰余金9億6,703万1,912円のうち、当初予算にて計上済みの2億円を除く、7億6,703万1,000円を繰越金として計上するとともに、2分の1の額を別府市財政調整基金へ積み立てる、さらに、「湯のまち別府ふるさと応援寄附金」のうち、「地震被害の支援」として寄附された958万2,000円を計上し、今回の補正予算で計上している農林水産業施設災害復旧費や、大分県から提供された支援物資に対する費用について、「大分県及び市町村相互間の災害時応援協定」に基づいた別府市負担分の財源とするとの説明がなされました。

委員からの、「湯のまち別府ふるさと応援寄附金」の状況についての質疑では、9月8日現在、全体で507件、約2,542万円であり、昨年の方額の約7割に達しているとの答弁がなされました。

さらに委員より、大分県からの支援物資の使用状況について質疑がなされ、当局より、未使用分については、今後の災害等に備え、備蓄しているとの答弁がなされ、これを了とし、採決の結果、全員異議なく原案のとおり可決すべきものと決定いたしました。

続きまして、『議第77号 平成28年度別府市後期高齢者医療特別会計補正予算(第1号)』であります。平成27年度会計において、出納整理期間中に徴収した保険料相当額を同年度会計の黒字分として平成28年度へ繰り越した上で、同額を大分県後期高齢者医療広域連合へ納付するものであるとの当局説明があり、採決の結果、全員異議なく原案のとおり可決すべきものと決定した次第であります。

以上で、当委員会に付託を受けました議案に対する審査の経過と結果の報告を終わります。

何とぞ、議員各位のご賛同をよろしくお願いいたします。